

## 言葉が人をつくる

以前、夜遅く仕事から帰宅すると家族が私にこんな報告をしてくれました。

その日の朝、妻がゴミ出しに向かうと道路上にゴミが散乱していたそうです。いつもの憎きカラスたちの仕業です。ちょうど朝の通勤や通学の時間帯なので、サラリーマンや学生さんはその場をちらっと見やりながらも、何事もなかったかのように足早に通り過ぎていきます。さらに道路上を次々と自動車が通り過ぎるたびに、散乱したゴミは汚く広がっていきます…。

見るに見かねた妻は覚悟を決め急いで家に戻り、ほうきとちりとりを持ってきて一人で道路の掃除を始めました。もちろんその間掃除を手伝ってくれる人は誰一人現われません。

しばらくすると、小学校高学年らしき一人の女子児童が少し離れたところから妻が掃除している様子をずっと見ている視線に気が付きました。その視線を感じながらも黙々と掃除を続けていました。そしてとうとうその子は意を決したように妻に近付いてきてこう言いました。

「きれいにさせていただいてありがとうございます。手伝えなくてすみません。

いつも（ゴミの散乱が）気になっていました。本当にありがとうございます…」

この言葉を聞いてとてもうれしく温かい気持ちに満たされたのは言うまでもありません。改めて見渡しても周りに誰も手伝う大人がいなかったことから、もしかしたら、この小学生は感謝の気持ちを自分の言葉で何としても妻に伝えたいと思ったのかもしれませんが。

私はこの出来事を聞いたとき、「どんな親御さんがこの子を育てたのだろう…」とまず思いました。掃除を手伝う人もなく、言葉をかける人もなく、単なる不愉快な出来事で終わってしまうところをこの一人の小学生の言葉が救ったのです。子どもでも大人でも感謝の気持ちを自然に言葉にできる人は素晴らしいと心から思いました。

こうした出来事は日常に溢れています。たった一つの言葉でその場にいる全員が温かい気持ちになったり、幸せな気持ちになったりします。逆に、たった一つの言葉で、暗く冷たい気持ちになることもあります。「言葉が人をつくる」ことは真実だと思っています。

「言葉」がその人そのものと言っていいかもしれません。これからの学校や教師の大切な使命の一つは、「言葉への信頼」を取り戻すことかもしれません。

有名なヒンズー教の教えにこんな言葉があるそうです。

言葉が変われば 心が変わる  
心が変われば 行動が変わる  
行動が変われば 習慣が変わる  
習慣が変われば 人格が変わる  
人格が変われば 運命が変わる